

香蘭社（こうらんしゃ）の美術館とショールーム

株式会社香蘭社の本社は、有田の重要伝統的建造物群保存地区内の内山（うちやま）地区にある。元アメリカ大統領のユリシーズ・S・グラント（1822～1885）が任期終了後の世界旅行の途中、1879 年に日本を訪問するのに備えて、1877 年に建設が始まった。妻のジュリア・グラント（1826～1902）は高級磁器の蒐集家として知られていた。夫妻の有田訪問時の滞在場所として建てられたこの 3 階建ての建物のデザインには当時の西洋様式が取り込まれている。近隣に適した宿泊場所がなかったためである。ただ残念ながら、コレラが流行したため、結局夫妻は有田を旅することはできず、この建物を訪れることもなかった。後に、部屋は貴賓室や外交交渉のための部屋に転用された。メインホールにあるシャンデリアは 1876 年のフィラデルフィア万博の際に購入したもので、天井をロウソクの火から守るため、有田焼の特別な皿が取り付けられている。現在、部屋は一般公開されていない。

香蘭社のショールーム本店は 1905 年に建てられたもので、隣の長崎（ながさき）県・佐世保（させぼ）の建築物に着想を得て造られた。会社の急拡大に合わせて余裕を持たせるため、1936 年に新たに翼（よく）が付け足された。本館の 2 階にある香蘭社古陶磁美術館には、1800 年代後半から 1900 年代初めにかけての会社の全盛期に作られた作品や宮内庁御用品など、古陶磁が展示されている。各展示品の説明が書かれた案内板も有田焼で作られている。